

# 2025年 濱口梧陵国際賞 (国土交通大臣賞) 受賞式

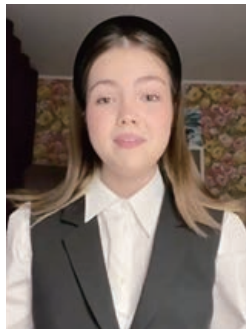
一般財団法人 沿岸技術研究センター  
研究主幹 山本 康太

濱口梧陵国際賞は、2015年の国連総会において「世界津波の日」が制定されたことを受け、2016年に津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた方を表彰するため創設されたものです。

2025年の受賞者への表彰式および講演会は、11月11日、海運クラブにおいて開催されました。

授賞式では、永井国土交通大臣政務官より、三村信男博士（茨城大学名誉教授）とStefano Tinti博士（ポローニャ大学母校招聘教授（イタリア））に、それぞれ表彰楯が授与されました。

また、授賞式につづく記念講演会では、受賞者お二人によるご講演に加え、作文コンテスト優秀賞受賞者 Sofia Kyslynskaさん（ウクライナ）の受賞コメントと受賞作品の朗読がビデオレターにより紹介されました。



Sofia Kyslynska さん

## 受賞者の概要

### ・三村 信男博士 茨城大学名誉教授

三村博士は、地球環境工学・海岸工学の分野で研究を重ねられ、津波や高潮の科学的評価や気候変動対策の構築に大きく貢献されてきました。特に南太平洋の小島嶼国や東南アジア諸国での国際共同研究を主導され、ツバルやタイ、ベトナムでは行政や大学、国際機関と協力して防災対策の策定に寄与されました。また、IPCCの第2次から第6次評価報告書に継続して参加する中、沿岸域や小島嶼国のリスク評価を世界に発信し続け、国際政策に影響を与えました。国内では、茨城県津波対策検討委員会でL1・L2津波概念の導入を主導されるなど、防災対策や海岸管理政策の推進に尽力されました。さらに、茨城大

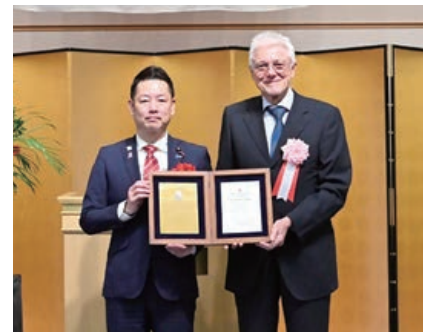
学長として防災・環境教育を推進し、ハノイに設立された日越大学を通じて途上国の人材育成にも尽力されるなど、研究・政策提言・教育・国際活動といった多方面から社会のレジリエンス向上に貢献されました。



三村信男博士への表彰楯の授与

### ・Stefano Tinti 博士 ポローニャ大学母校招聘教授

ティンティ博士は、40年以上にわたり津波科学を先導してきた国際的権威であり、ポローニャ大学では地球物理学の教授を勤められました。多くの若手研究者を育成され、その門下生は欧州各地で活躍しています。発表論文は270編を超え、津波発生メカニズムや数値モデリング、ハザード評価に大きな成果を挙げられています。特に地中海地域における地震・地すべり・火山起源の津波研究を推進し、歴史的な津波の再現や津波カタログの整備を通じて防災計画の基盤を築かれています。さらに「最悪ケース想定」に基づくリスク評価や建築物の脆弱性評価手法を普及させ、研究成果を社会実装に結びつけられています。UNESCOの北東大西洋や地中海沿岸を対象とする津波警報システム議長や国際津波委員会にも長年関与され、国際的な防災政策の構築にも貢献されています。こうした活動を通じ、欧州および世界の津波防災力の向上に貢献されています。



Stefano Tinti博士への表彰楯の授与



授賞式 集合写真